

# 日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会  
〒602-8048 京都市上京区下立売通  
小川東入ル  
中西印刷株式会社（日本産業衛生学  
会近畿地方会事務局支局）  
発行責任者 林 朝茂（地方会長）  
<https://jsohkinki.smoosy.atlas.jp/ja>

## 第73回日本産業衛生学会近畿地方会総会・学術講演会の開催案内

近畿地方会会長 林 朝茂

日時：2025年6月14日（土） 11：40～17：20

場所：大阪市立阿倍野区民センター・大ホール

大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 4-19-118

開催方法：現地開催

本年度の日本産業衛生学会近畿地方会総会・学術講演会は、現地開催にて実施いたします。

今年度の学術講演会のテーマは「いま求められる産業保健の知識」です。

学術講演会では、①職域における熱中症対策、②有害業務関係として皮膚吸収性有害物質の管理、③企業におけるハラスメント問題対策、の3つのテーマを取り上げ、それぞれの専門家をお招きし、ご講演いただきます。日々の産業保健活動において、気候変動に対応した健康管理を進めていく上で、大変意義深い講演となることが期待されます。

### 特別講演の概要

#### ◆特別講演1：「安衛則改正に伴う職場の熱中症対策」

演者：堀江 正知 先生（産業医科大学 産業保健管理学 教授）

近年、地球温暖化の影響により、夏季の気温上昇が顕著となっており、すべての働く人々の健康にとって重大な課題となっています。特に高温環境下での作業に従事する労働者にとって、熱中症は生命に関わるリスクであり、職場における予防対策の強化が産業保健上の急務です。本講演では、この「熱中症対策」について、現場で求められる産業保健の視点からご講演いただく予定です。また、令和7年6月1日施行予定の「労働安全衛生規則の一部改正」に関する最新情報についてもご紹介いただき、事業者求められる対応や今後の方向性を確認する機会となることが期待されます。

#### ◆特別講演2：「皮膚吸収性有害物質の性質やその衛生管理等について」

演者：豊岡 達士 先生（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所（湘南地区）有害性試験研究領域 開発グループ）

職場における化学物質の管理は、産業保健の基本的かつ重要な課題の一つであり、その中でも「皮膚吸収性有害物質」への対応は、見落とされがちでありながら深刻な健康影響を引き起こす可能性があります。最近、皮膚吸収性有害物質に関する法改正が行われ、産業保健の専門職として、これらの物質に関する正しい理解と適切な管理方法を身につけることは不可欠です。本講演では、皮膚吸収性有害物質への基本的なお話から、企業における対策についてまでご講演頂く予定です。現場での対応力を高め、化学物質による健康リスクの低減を目指す上で、非常に有意義な内容となることが期待されます。

#### ◆特別講演3：「企業におけるハラスメント対策」

演者：田中 健吾 先生（大阪経済大学 経営学部 教授）

近年、職場におけるハラスメント問題は、労働者のメンタルヘルスや職場環境全体に深刻な影響を与えるものとして、産業保健の現場でも大きな関心が寄せられています。安心して働く

ことのできる職場づくりを支えるためには、的確な認識と予防・対応策の整備が求められています。本講演では、ハラスメントに関する社会的な動向やその背景を踏まえ、産業保健の立場から参考となるお話をいただく予定です。職場の健全な環境づくりを考えるうえで、有意義な内容となることが期待されます。

### 開催体制について

今回の学術講演会は、大阪府医師会との共催として実施いたします。これまで長年にわたり、この学術講演会の運営は、大阪公立大学大学院医学研究科産業医学教室が事務局を担ってまいりましたが、人的資源の確保が難しい状況です。また、日本の産業保健への貢献と運営上、長年、本講演会は日本医師会の認定産業医研修会を兼ねることで運営してきました。

こうした状況を踏まえ、大阪府医師会と協議を重ねた結果、主に認定産業医関連の運営事務を大阪府医師会が担い、講演内容と講師の選定（学会員への対応も含めて）を近畿地方会が担当するという協力体制で開催する運びとなりました。

そのため、本講演会は今年度より「第73回日本産業衛生学会学術講演会・第1回大阪府医師会学術講演会」としての開催となります。

### 開催方法について

本年度は会場の都合により現地開催のみとさせていただきます。詳細は、近畿地方会のホームページおよびメーリングリストにてお知らせいたします。

メールアドレスの変更や未登録の方は、日本産業衛生学会の会員ページにて情報の更新・登録をお願いいたします。

会員の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

### （プログラム）

11：40～12：20 近畿地方会総会

14：00～17：20 学術講演会「いま求められる産業保健の知識」

特別講演1（14：00～15：00）

「安衛則改正に伴う職場の熱中症対策」

演者：堀江 正知 先生（産業医科大学）

特別講演2（15：10～16：10）

「皮膚吸収性有害物質の性質やその衛生管理等について」

演者：豊岡 達士 先生（労働安全衛生総合研究所）

特別講演3（16：20～17：20）

「企業におけるハラスメント対策」

演者：田中 健吾 先生（大阪経済大学）

### （参加費）

次ページの第73回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会申し込み要領をご覧ください。

### （単位申請）

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・専門 3.0単位申請中（3講演ともに受講いただく事が必要です）

日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度の認定単位 申請予定

# 第73回日本産業衛生学会近畿地方会学術講演会申し込み要領

### 【参加費】

日本産業衛生学会近畿地方会員

日本医師会認定産業医単位を希望しない場合：無料

日本医師会認定産業医単位を希望する場合：3,000円

大阪府医師会会員

日本医師会認定産業医単位を希望しない場合：無料

日本医師会認定産業医単位を希望する場合：3,000円

日本産業衛生学会近畿地方会員でもなく、大阪府医師会会員でもない方

日本医師会認定産業医単位を希望しない場合：2,000円

日本医師会認定産業医単位を希望する場合：募集はありません。

### 【申し込み方法】

参加は、日本産業衛生学会近畿地方会ホームページ、地方会メンバーリストでお知らせします。

### 【受け付け期間】

2025年5月7日(水)正午～5月23日(金)23:59です。詳しくは、日本産業衛生学会近畿地方会ホームページ、地方会メンバーリストでお知らせします。

### ■代議員の皆様へ

総会の前に代議員会を開催いたします。代議員の方はご出席ください。

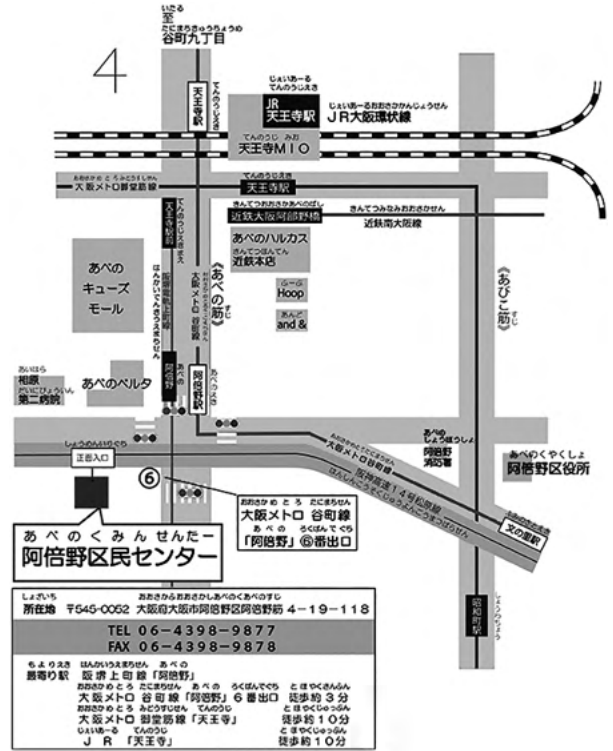
時間：11:00～11:30 (10:55～受付)

場所：大阪市立阿倍野区民センター 大ホール

大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出席確認」用のハガキを5月26日(月)必着でご返信ください。昼食の準備はしていません。

館内での飲食は原則禁止です。



## 近畿地方会のホームページ改変と近畿産業衛生学会の運営改革

近畿地方会会長 林 朝茂

### ■近畿地方会ホームページの改変について

このたび、近畿地方会のホームページを改変いたしました。これは、これまでホームページ運用を委託していた業者への継続的な依頼が困難になったことが主な理由です。

これまでのホームページ更新作業では、①掲載内容をメールで業者に送信し、②掲載後の内容を確認、③修正があれば再度依頼し、④再度確認する、という一連の手間がかかっていました。そのため、最近では我々が原稿をPDFで作成してそのまま掲載を依頼するなど、厳しい状況となっていました。また、ホームページのバージョンアップもリアルタイムで対応できないという課題もありました。

こうした状況を踏まえ、業務の効率化を目的として新たなシステムの導入を行いました。新システムの特徴は、プログラムの知識がなくてもWord感覚で編集・更新ができる点と、月額1万円程度で運用可能な経済性です。メールで依頼する手間そのものが、ホームページ構築の作業に直接置き換えられるため、更新作業の迅速化が期待されます。

新ホームページのURLは以下の通りです。

📧 <https://jsohkinki.smoosy.atlas.jp/ja>

### ■近畿産業衛生学会の運営改革について

第64回近畿産業衛生学会は、台風の影響によりやむなく中止となりました。中止は避けなかったところでしたので延期を行い、昨年12月に行いました。しかし、学会の運営には多

大な労力が必要です。そこで、今後の学会運営の円滑化と効率化を図るため、昨年12月の開催時に新たな学会運営システムを導入しました。このシステムには以下のような機能が備わっており、業務の改善を行うことができました。機能は次のようになります。①学会ホームページの構築・更新、②参加登録システム、③クレジットカードによる参加費決済、④領収書・請求書等の自動発行、⑤参加者名簿の一元管理、⑥参加者への一斉メール配信など、多くの機能を備えています。この運営システムは、前述の近畿地方会ホームページと同じ業者のもので、Word感覚で操作できる点が特徴です。また、参加費の徴収業務はこれまで事務局にとって大きな負担でしたが、本システムの導入により、帳簿記載の軽減、さらに領収書発行といった作業も自動化され大きな効果を実感しています。大会のホームページに関しましても、今後は毎年の開催に応じて内容の改変で柔軟に対応できるようになります。このシステムは、今後の第65回近畿産業衛生学会の運営にも引き継がれ、さらなる改善に活用していく予定です。

なお、近畿地方会のホームページ改変および近畿産業衛生学会の運営改革は、教室の佐藤先生、深井先生、そして私が担当いたしました。

学会運営は、会員の皆様のご協力なしには行えません。今後とも何卒近畿地方会の運営にご協力頂きますようお願い申し上げます。

## 2024 年度近畿地方会収支報告および 2025 年度予算

### 1. 収入の部

科 目	2024 年度予算額	2024 年度決算額	2025 年度予算額	決算額の備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	400,000	537,000	500,000	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	400,000	537,000	500,000	第 72 回学術講演会 会員：現地 84 名+ オンライン 120 名 非会員：産業医単位要 105 名×5,000 円+産業医単位不要 6 名×2,000 円
受取補助金等	1,950,000	1,981,487	1,800,000	
受取本部助成金	1,950,000	1,981,487	1,800,000	本部からの助成金 1,474 名分、地方会選挙補助金 1,226 名分
受取地方公共団体助成金				
受取負担金	2,200,000	2,390,000	2,200,000	
受取活動費	2,200,000	2,390,000	2,200,000	地方会活動費 1,195 名分
雑収益	50	656,937	500	
受取利息	50	2,948	500	利息
雑収益		653,989		第 64 回近畿産業衛生学会残金返金
経常収益計	4,550,050	5,565,424	4,500,500	

### 2. 支出の部

科 目	2024 年度予算額	2024 年度決算額	2025 年度予算額	決算額の備考
事業費	4,284,558	5,424,516	4,976,150	
臨時雇賃金	50,000	0	50,000	学術講演会の臨時雇い人員なし
会場費	700,000	631,717	460,000	学術講演会会場費、Zoom アカウント料、若活会場費など
旅費交通費	180,000	84,940	180,000	学術講演会講師 (2 名)、若活出役の交通費
通信運搬費	10,000	1,436	10,000	学術講演会の通信費 (郵送代など)
印刷製本費	100,000	122,092	120,000	ニュース封筒印刷
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	20,000	6,243	20,000	学術講演会 配布資料印刷のためインクジェットインク+コピー用紙
機関紙発行費	600,000	718,985	810,000	地方会ニュース印刷発送費
研究費	50,000	0	50,000	
諸謝金	160,000	88,720	160,000	学術講演会謝金 (2 名)、労務提供記念品
学会助成金	462,558	1,783,408	1,479,150	第 64 回近畿産業衛生学会助成金 (1,462,558 円)、第 65 回近畿産業衛生学会会場費等 (320,850 円)
協議会助成金	0		0	
大会研修会助成金	0	0	0	
部会助成金	600,000	600,000	450,000	150,000 円×4 部会
研究会助成金	50,000	50,000	50,000	50,000 円×1 研究会
委託費	890,000	888,635	890,000	事務支局 88 万円+振替受払通知票出力 8,635 円
開発保守費	407,000	443,720	242,000	HP 関連(産業保健アシスト:323,382 円+第 64 回近畿産衛サイト 5 万円+消費税 37,338 円、アトラス:SMOOSY 利用料月額利用料 10,000 円のため、2024 年 12 月~2025 年 2 月分 33,000 円)
雑費	5,000	4,620	5,000	振込手数料等
管理費	1,064,197	1,043,241	539,401	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	155,000	171,387	140,000	幹事会会場費、Zoom 契約料
旅費交通費	5,000	55,660	8,000	会計監査交通費、11/23 第 2 回幹事会、第 2 回代議員会の交通費
減価償却費	42,797	42,795	1	パソコンの減価償却費 (本部指示による)
通信運搬費	70,000	71,176	80,000	会計監査資料送料、総会・代議員会用はがき後納手数料、レターパック
役員改選費	500,000	412,186	10,000	
印刷製本費	120,000	103,675	120,000	活動費振替用紙・封筒印刷費・総会用・代議員会用はがき
消耗品費	10,000	26,312	20,000	外付けハードディスク、インクジェットインク、コピー用紙、電卓など
委託費	158,400	158,400	158,400	会員管理システム保守費用
雑費	3,000	1,650	3,000	振込手数料等
経常費用計	5,348,755	6,467,757	5,515,551	
当期一般正味財産増減額	- 798,705	- 902,333	- 1,015,051	
一般正味財産期首残高	8,089,044	8,089,044	7,186,711	
一般正味財産期末残高	7,290,339	7,186,711	6,171,660	

## 2024年度事業報告

### 1. 第72回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2024年6月29日（土）14：00～16：30

場所：Meeting Space AP 淀屋橋

(1) 地方会総会 12：50～13：30 Meeting Space AP 淀屋橋  
委任状 398名、出席者 36名

(2) 学術講演会 ハイブリッド開催：現地+Web  
特別講演（14：00～16：30）

テーマ「2024年における産業保健トピックス」

1) 特別講演1：「働き方改革の現状と2024年問題」  
演者：大和 奈月（弁護士法人 大江橋法律事務所）

2) 特別講演2：「ポストコロナ時代の職場のメンタルヘルス」  
演者：今村 幸太郎（東京大学 大学院医学系研究科  
社会連携講座、デジタルメンタルヘルス講座）

参加者 313名（内訳：現地 193名、オンライン 120名）

### 2. 第64回近畿産業衛生学会

日時：2024年12月22日（日）9：20～18：10 ハイブリッド  
開催：現地+Web

場所：大阪公立大学医学部学舎（阿倍野キャンパス）

学会長：中西一郎（東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター）

テーマ：「災害に立ち向かう産業保健～私たちができること～」

(1) 一般演題

(2) 教育講演

「震災後に起こりえる石綿曝露による中皮腫～石綿の基本的知識から」

演者：森永 謙二（環境再生保全機構石綿健康被害救済部）

(3) 基調講演

「災害時における健康管理システムの実装～令和6年能登半島地震の経験をもとに～」

演者：立石 清一郎（産業医科大学産業生態科学研究所  
災害産業保健センター）

(4) シンポジウム

1) 「災害時の歯科保健・医療－阪神・淡路大震災から能登地震までの29年」

足立 了平（医療法人社団関田会ときわ病院 歯科・歯科口腔外科、神戸市健康局）

2) 「災害対応に従事する従業員への健康支援」

白崎 慶子（北陸電力株式会社福井支店 総務部健康推進室）

3) 「惨事ストレス事案の心理職の対応例」

廣川 進（法政大学キャリアデザイン学部）

参加者 307名（内訳：現地 256名、オンライン 51名）

### 3. 地方会役員会の開催

代議員会

第1回2024年6月29日（土）12：00～12：30 Meeting Space AP 淀屋橋  
委任状 50名、出席者 29名

第2回2024年11月23日（土）11：00～12：00 大阪公立大学医学部学舎  
委任状 73名、出席者 45名

幹事会

第1回2024年6月29日（土）10：00～11：15 Meeting Space AP 淀屋橋

第2回2024年11月23日（土）9：15～11：00 大阪公立大学医学部学舎

### 4. 地方会部会活動

(1) 産業医部会

1) 第29回近畿産業医部会研修会

日時：2024年11月9日（土）14：00～16：40

場所：大阪産業創造館 4階イベントホール

テーマ：産業保健におけるアルコール対策

●基調講演「産業保健分野におけるアルコール健康障害の対応」

演者：辻本 士郎（ひがし布施クリニック）

●シンポジウム：産業保健におけるアルコール対策

1. アルコール依存症患者の体験談  
村井 誠（辻本先生の患者様）

2. 産業医実務におけるアルコール対策と課題

磯部 昌憲（京都大学精神科神経科）

3. アルコール依存症専門医の立場から産業医に期待すること  
辻本 士郎（実務におけるアドバイス）

総合討論

参加者：98名

2) 役員会

懇親会：2024年8月2日（金）

第1回役員会：2024年11月9日（土）

第2回役員会、監査会：2025年2月13日（木）（Zoom）

3) 専門委試験に挑戦しよう！

第3回専門委試験に挑戦しよう！：2024年3月

第4回専門委試験に挑戦しよう！：2024年7月

第5回専門委試験に挑戦しよう！：2024年9月

(2) 産業保健看護部会

1) 定例研修会の開催

日時：2025年1月25日（土）13：00～17：00

場所：マイドームおおさか

講演：「産業保健現場でのデータ活用術」

講師：金森 悟（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

懇談会：「問われる産業保健看護職の真価」～コアバリューとコアコンピテンシーとは～

講師：住徳 松子（産業保健看護部会）

参加人数：63名

2) 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協力

日時：2024年6月16日

3) 幹事会の開催

日時：2024年3月19日、4月8日、5月13日、7月26日、10月30日、2025年1月25日

4) メールマガジンの配信

日時：2024年8月14日、12月20日

5) 近畿産業保健看護部会活性化会議開催

日時：2024年7月14日

(3) 産業衛生技術部会

1) 2024年度産業衛生技術部会研修会

日時：2024年6月15日（土）13：30～16：30

場所：KITENA 新大阪 604号室

テーマ「騒音障害防止のためのガイドライン改正を受けて」  
講演：令和5年改正「騒音障害防止のためのガイドライン」を読み解く

講師：東久保 一朗（産業医科大学産業保健学部）

実習：職場巡視に活用できる騒音測定器、聴力測定器について  
講師：中市 健志（リオン株式会社研究開発センター 研究開発室）

参加人数：37名

2) 2024年9月26日（木）～10月15日（火）2024年度産業衛生技術部会総会

当初は「第64回近畿産業衛生学会」内で実施予定だったが、台風接近で学会が延期になったため、メールにて開催。

3) 幹事会の開催

日時：2024年6月15日（土）11：00～12：30 KITENA 新大阪

2024年11月28日（木）10：30～13：00 関西福祉科学大学 EAP 研究所

2025年2月7日（金）18：30～20：00 関西福祉科学大学 EAP 研究所

4) 産業衛生技術部会 事務局/部会長 引継ぎ

日時：2025年2月7日（金）14：00～17：00 関西福祉科学大学 EAP 研究所

(4) 産業歯科保健部会

1) 2024年度第3回近畿産業歯科保健部会総会

日時：2024年4月21日（日）10：30～12：00

場所：大阪府立男女共同参画・青年センター（ドーンセンター）

2) 第3回近畿産業歯科保健部会 研修会

日時：2024年11月10日（日）10：30～12：00

場所：大阪府立男女共同参画・青年センター（ドーンセンター）

テーマ：「続・歯科からの挑戦 ～これからの産業保健～」

演題：「働く人々の健康管理～ドライマウス・睡眠時無呼吸・嚥下障害について～」

演者：小谷 泰子（医療法人美和会平成歯科クリニック、一般社団法人大阪府歯科医師会、大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療学講座）

参加者：38名

3) 幹事会の開催

日時：2024年11月10日（日）12：30～13：00

場所：錦城閣

### 5. 地方会ニュースの発行

近畿地方会ニュースを年2回（130号～131号）発行。

### 6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、メールアドレスの登録がある

会員宛に研修案内を送るなど地方会会員に迅速に情報を提供した。

## 7. 地方会プロジェクト

### 若手活性化プロジェクト

#### 1) 第4回若手活性化イベントの開催

「こんな研修あったかな！困りごとを語らう会&バラ園ウォーキング」

日時：2024年10月19日(土) 13:30～16:00

場所：住友電設株式会社 大阪本社10階会議室

13:30～16:00 グループディスカッション

16:00～17:00 大阪本社内見学&ウォーキング  
(荒天のため中止)

17:15～19:30 大阪市内で懇親会

ファシリテーター：喜多岡 蓮美(住友電設健康管理室)

参加者：36名

#### 2) 第3回わかりやすい統計講座「実践編」の開催

日時：2024年11月23日(土) 13:30～16:00

場所：大阪公立大学医学部学舎 阿倍野キャンパス4階 中講義室1

講師：林 朝茂(大阪公立大学大学院医学研究科産業医学)

協力：大阪公立大学大学院医学研究科産業医学教室

参加者：26名

#### 3) ダイバーシティ推進委員会セミナー「近畿地方会の紹介」を共催

日時：2025年1月11日(土) 10:00～

場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワー  
B10階 RoomB02

スケジュール

I. ダイバーシティ推進委員会セミナー(10:00～12:00)

【以下は会場参加の方のみ】

II. みんなで歩こう！(12:00～13:00) グラングリーン大阪

III. 懇親会(13:00～15:00)

①開会挨拶 10:00～10:10

「ダイバーシティ推進委員会の紹介」

演者：西 賢一郎

②基調講演 10:10～10:45

「近畿地方会における若手活性化プロジェクトの開催経験と成果」

演者：喜多岡 蓮美(住友電設健康管理室)

③シンポジウム 10:45～11:45

会員報告：「独立系産業医・保健師のキャリア形成と近畿地方会の関わり」

演者：深井 恭佑(リードウェル)

藤吉 奈央子(トラストチャーム)

ディスカッション

登壇者：深井 恭佑、藤吉 奈央子、喜多岡 蓮美

安田 恵理子(大阪歯科大学口腔衛生学講座、産業歯科保健部会)

福田 郁巳(産業医科大学大学院産業衛生学)

④Closing Remarks 11:45～11:57

演者：林 朝茂(大阪公立大学大学院医学研究科産業医学、近畿地方会会長)

⑤閉会挨拶 11:57～12:00

西 賢一郎

参加者：96名(内訳：現地35名、オンライン61名)

## 8. 研究会、研修会等

### 日本産業衛生学会近畿地方会産業精神衛生研究会

#### 1) 研修会の開催

日時：2024年11月6日(水) 18:30～20:30

場所：エル・おおさか 南ホール

テーマ「発達障害について」

①「メンタルヘルス対策の仕組み作りと困難事例への取り組み」

演者：小澤 珠美(大阪信用金庫)

②「発達障害「疑い」のある従業員への対応と指導の実際」

演者：高尾 総司(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野)

参加者：80名

#### 9. 役員選挙の実施

実施なし。

#### 10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞・若手奨励賞

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考：柴田 幹子(大阪公立大学大学院医学研究科産業医学)

近畿産業衛生学会若手奨励賞の選考：松野 文恵(滋賀医科大学臨床看護学講座)

## 2025年度事業計画

### 1. 地方会学会の開催

第65回近畿産業衛生学会

日時：2025年11月8日(土)

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

学会長：西田 和彦(長谷工クリニック)

テーマ：「生涯現役社会に向けた産業保健の取り組み」

I. 一般演題

II. 教育講演

III. 基調講演

IV. シンポジウム

### 2. 地方会総会の開催

第73回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2025年6月14日(土)

場所：大阪市立阿倍野区民センター

開催方法：現地開催のみ

I. 地方会総会

II. 学術講演会

### 3. 地方会役員会(代議員会・理事会・幹事会)の開催

#### 代議員会

第1回 2025年6月14日(土)大阪市立阿倍野区民センター

第2回 2025年11月8日(土)大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

#### 幹事会

第1回 2025年6月14日(土)大阪市立阿倍野区民センター

第2回 2025年11月8日(土)大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

### 4. 地方会部会活動

#### 1) 産業医部会

(1) 第30回近畿産業医部会研修会

日時：2025年10月25日(土)

(2) 役員会2回開催予定(産業医部会研修会時、2月頃)

#### 2) 産業保健看護部会

(1) 定例研修会開催：2026年1月(詳細未定)

(2) 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協力：2025年6月

(3) 幹事会：3回以上開催予定

(4) メールマガジン配信(随時)

(5) 近畿産業保健看護部会活性化及び、業務効率化

#### 3) 産業衛生技術部会

(1) 2025年度近畿産業衛生技術部会研修会

日時：2025年6月に開催予定(詳細は未定)

場所：大阪市内の貸会議室

(2) 幹事会：2回以上実施予定(技術部会研修会時等)

(3) 2025年度産業衛生技術部会総会

第65回近畿産業衛生学会にて開催予定

#### 4) 産業歯科保健部会

(1) 2025年4月～5月に近畿産業歯科保健部会総会開催予定

(2) 2025年8月～9月に第4回近畿産業歯科保健部会研修会開催予定

(3) 幹事会：3回開催予定

### 5. 地方会ニュースの発行

年2回の発行予定

### 6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

### 7. 地方会プロジェクト

若手活性化プロジェクト：

(1) 参加型イベント+ウォーキングイベント(詳細未定)

(2) 学会発表に役立つ研修会(詳細未定)

### 8. 研究会、研修会等

日本産業衛生学会近畿地方会産業精神衛生研究会

1回/年開催予定(11月頃)

### 9. 役員選挙の準備・実施

実施なし。

### 10. その他

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

近畿産業衛生学会若手奨励賞の選考

## 2024 年度産業保健看護部会研修会報告

## 2024 年度産業保健看護部会定例研修会に参加して

日本製鉄（株）関西製鉄所  
安全健康室

河村 美和



2025年1月25日に産業保健看護部会定例研修会が開催され、63名の皆様と学びを共にする貴重な機会を頂きました。講演会「産業保健現場でのデータ活用術」では、帝京大学大学院金森悟先生より、保健活動展開のポイントをご講話とワーク（計画立案/PECO視点）の2部構成でご講演いただきました。因果推論を展開するうえで、適切な研究デザインを理解することが重要であることを各疫学研究の特長と活用例と共にご教授いただきました。また、効果的健康対策計画の樹立ポイント（介入、評価法のエビデンス検索/AI活用術等、法的根拠や経営理念の理解、プレゼン力等）を通し、産業保健職に求められるスキルを具体的に確認出来ました。今回の講演拝聴は、日々の課題をリサーチ・クエスチョンへ構成化する過程を論理的に整理でき、今後の保健活動のスパイラルアップ、研究へのモチベーションにも繋がるものとなりました。

懇談会「問われる産業看護職の真価～コアバリューとコアコンピテンシーとは～」では、産業保健看護部会副部長住徳松子先生より、産業衛生学会の活動状況、トピックス（大阪・関西万博で開催されるGISHW/国際学会の情報展開）と、「保健師の未来を拓くプロジェクト」の経緯についてご講演いただきました。保健師連合協議会3団体による研究結果から保健師の3つのコアバリュー/核となる価値・規範、8つのコアコンピテンシー/核となる能力が明確となり、3学会合同セミナーでは産業事例の検証と共有が行われ、今後さらなる周知、人材育成、活動評価が求められることを熱くユーモアを交えてご講演いただきました。産業保健における公衆衛生看護活動の拡大、高度化が求められる中、コアバリュー・コアコンピテンシーを意識した組織、個人のキャリア構築の重要性を再認識できたことで、今後の組織体制の検討、自己研鑽の志気を高めることが出来ました。ご講演頂きました講師の皆様、企画、運営担当の皆様から感謝申し上げます。

## 令和6年度中央労働災害防止協会顕功賞を受賞して

## 顕功賞を受賞して

圓藤 陽子



広島で昨秋開催されました第83回全国産業安全衛生大会において、中央労働災害防止協会顕功賞をいただきました。

顕功賞とは、篤志家の寄附をもとに、労働災害防止運動の推進に寄与することを目的として、研究、考案等により労働災害の防止上顕著な功績をあげた個人や団体に中央労働災害防止協会が毎年大会において表彰しています。私は日本産業衛生学会の推薦により、「長年にわたり化学物質のばく露評価や健康影響の研究に従事され、その成果を産業現場に還元するとともに、労働衛生の学術活動においても指導的役割を果たすなど、我が国の産業保健の発展に顕著な功績をあげられました。」として受賞しました。大変光栄に存じます。推薦して下さいました日本産業衛生学会の理事の先生方、中でも推薦状を執筆して下さいました許容濃度委員会委員長の野見山哲生先生に厚くお礼申し上げます。

振り返ってみますと、労働安全衛生法が施行された1972年に大学を卒業して以来約50年、動物を用いた毒性実験、作業環境測定法の開発、化学物質の有害性評価の他、産業中毒情報センターで相談事業を行い、厚生労働省や環境省の審議会や検討会、内閣府食品安全委員会の専門調査会などの委員を務め、健康リスクを評価し、労働環境と生活環境の最適化を目指して、働いてまいりました。許容濃度委員会では、1990年から約35年間参加し、様々な化学物質の許容濃度を提案して参りました。これら提案値は、厚生労働省が管理濃度や濃度基準値の制定に活用しています。これからは自律的管理の時代になりますので、各事業場で許容濃度と提案理由をリスク評価に活用していただきたいと思います。

私は、来年3月末をもって許容濃度委員会を退任しますが、このように長い期間働くことができ顕功賞をいただけたのは、周囲の皆様のご指導と援助の賜物です。皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

今後は日々ゆったりと健康に暮らしたいと思っております。

## 会員の声



### 近畿地方会の皆様 はじめまして

シスメックス(株)・人事部

梅本 秀俊

いかがお過ごしでしょうか。本年の3月は例年以上に寒暖差の激しい気候です。とはいってもこのような異常気象も毎年の事で、これが通常の気候だと思われなければいけないとさえ感じております。皆様もくれぐれも体調にはお気を付けください。

私は産業医科大学の卒業ですが、産業保健の経験はまだ浅く、2024年8月より企業の専属産業医として修練を積み始めたばかりです。大学卒業後は泌尿器科医として主に地元和歌山県を中心に臨床業務をしていました。義務年限中の2年間は和歌山県立医科大学で専属産業医として勤務するという、お手本とは程遠い義務年限を過ごしました。義務年限を終え、やっとこれから医師として自由に働けるという状況で、専属産業医としての道を歩みだしたのは我ながらあまのじゃくだなど感じております。

さて、私が大学を卒業した十数年前とは産業保健の状況も少し変わって来ているようです。産業医科大学出身でない先生方も臨床研修終了後、直接専属産業医として活躍される(“直美”ならぬ“直産?”)先生や若手の先生方も産業医として独立開業されているケースもお見かけします。紹介会社の産業医案件への応募も多数あるとのことで、産業医の人気も高まってきているようです。

実は産業医を始めた矢先に契約終了との話となり、4月より新たな勤務先で働いております。既に出鼻をくじかれておりますが、めげずに精進して行こうと思っております。

余談になりますが、先日参加した若手学会員活性化プロジェクトのシンポジウムでのことです。ある先生が「学会の仕事を頼まれたら是非引き受けましょう」との旨の講演されておりました。拝聴している私も「全くその通りだな」と思っていた矢先に、今回の寄稿のお話を頂き、二つ返事でお引き受けしました。

比較的話かけやすい方だと思いますので、学会で見かけた際は是非話しかけてみてください。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

\*\*\*\*\*



### 伝えることの難しさと大切さ

読売新聞大阪本社  
労務担当室健康対策課

山本 尚未

新聞社はよく職種のデパートと言われるのですが、その範囲には収まらないくらい多種多様な職種と人がいるユニークな会社です。少しでも身近に感じていただきたいので、事業の一部をご紹介しながら私のことをお伝えしたいと思います。

メイン事業である新聞の印刷・発行には、毎日新しい情報を正確に伝えるために、早朝から深夜まで実に多くの工程があり多くの人が関わっています。文字で伝えるための工程としては、記者が取材し、書き上げた記事をデスクや校閲が一字ずつチェックします。上がった原稿に内容が一見して分かるような見出しをつけてレイアウトし、ようやく出稿となります。次は色で伝えるための工程ですが、送られてきたデータを1トンもの巨大なロール紙に、青赤黄黒の4色を調合して再現します。

最後は読者のお手元へ届けて伝えるための工程ですが、決められた部数を、決められた場所へ、決められた時間に確実に届けています。紙面もオンラインも一文字にたくさんの人の思いが込められている、そう思って読んでいただけますと嬉しいです。その他にも幅広いビジネスに取り組んでいます。新聞記者がノウハウを伝える言語力向上研修では、ご要望に応じた内容が楽しくて分かりやすいと好評です。開催中の大阪・関西万博では、取材の他にイベントの企画運営も行っています。

このような会社に所属していると、人に伝えることの大切さを意識することが増えました。定例研修会でのことを書きたいと思います。私は人前で話すのが苦手なので研修会の参加は不安でしたが、同じ気持ちだと伝えてくださった方がいらっしゃったのでとても安心しました。不安は冷たい、安心は暖かい、久しぶりに感情の温度を感じ、伝える・伝わるって難しいけど素敵なことだなと感じました。社内には伝えることのプロがたくさんいます。相手が大切にしていることを私も大切にしたい。そんな気持ちで言葉を探し、心を込めて伝えていきます。



## 産業歯科医って？

医療法人米永会 米永歯科医院

米永 哲朗

大阪市内で歯科医院を開業して今年で36年。ひょんなことから産業歯科にかかわって33年。そろそろ引退かなと思いつつ、まだまだやり残したことが多過ぎて忙しい日々を送っています。

そもそも産業歯科医とは、一定の有害な業務（塩酸、硝酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リン、その他、歯またはその支持組織に有害な物のガス、蒸気又は粉じんを発散する場所における業務）に従事する者に対して健康診断を行う歯科医師のことを言いますが、法理上の立場は非常に曖昧です。産業医は法律上の根拠は、はっきりして安衛法にて、一定の規模の事業所には産業医の選任が義務付けられています。

2022年10月より労働者数にかかわらず、有害業務に従事する労働者に対して歯科健康診断を実施し労働基準監督署長にその結果を報告することが義務化されました。

それにより健診依頼も徐々に増加していますが、言葉の解釈の違いにより現場の混乱も増えているようです。依頼する事業所も受ける歯科医院も、その依頼が一般健診か、有害業務健診かよく確認して誤解のないようにしなければ、双方にとって不幸な結果になってしまいます。

私たちは、子供の頃から歯科健診を受けることにすぐ慣れていました。1.5歳児、3歳児健診から始まり学校歯科健診、歯周病健診、自治体の行う節目健診、後期高齢者歯科口腔健診、これらすべて一般健診です。会社で働くようになり酸を扱うようになったので歯科健診を受けてきなさいと突然上司から言われただけでは、一般健診か特殊健診かどうか労働者にとってわからないのは当然だと思います。実施する歯科医院が注意する必要があるのですが、長年法律上の位置づけが曖昧なままの産業歯科医の制度の‘つけ’かもしれません。今後の課題として認定医制度にするか、法律上確固としたものにするか、いずれにせよハードルはかなり高いものになりそうです。それまでは個々の歯科医師のレベルをあげるしかないのでしょうか。

悩みは尽きません。まだまだ引退は先になりそうです。

\*\*\*\*\*



## 動脈硬化性疾患発症リスク管理の要としての産業保健職

りんくう総合医療センター循環器内科

増田 大作

みなさんこんにちは！りんくう総合医療センターで循環器内科部長をしております増田大作と申します。今まで動脈硬化性疾患の強いリスク因子である脂質代謝異常、特に高トリグリセライド血症の基礎研究・臨床研究を進めてきました。日本動脈硬化学会や日本循環器学会にも参画し、臨床研究やガイドラインの策定など尽力しております。リスク因子の改善には生活習慣の是正が肝要であり、リスク因子となる前の未病からのライフスタイルの確立が重要です。「いま働き盛りの方が健康的に過ごす」をキーワードに、10年以上多くの金融機関や製造工場の嘱託産業医として経験を積んできました。まだまだ途上ですが、動脈硬化性疾患のリスク評価や治療に関してはお役に立てることも多いと考えており、ご入

用の際は是非ともお声がけいただけいただければと思います。

脂質異常は健康診断において有所見者率が最も高く、動脈硬化性疾患の発症リスクを増加させることからその異常値の受験者には受診勧奨がなされています。しかし、脂質異常はともすると食べ過ぎ飲み過ぎのせいだと本人や家族、二次検診のドクターにまで言われ、精密検査や適切な治療介入の機会を失います。しかし、LDLコレステロール値が180 mg/dLを超える場合には遺伝子異常による家族性高コレステロール血症の可能性が高くなります。300人に1人と高率であり若年から重度の動脈硬化性疾患をきたすものの、適切な内服によりイベントを回避できます。脂質異常をありふれたものとせず、産業医および産業保健師の皆さんに適切な対応をお願いします。日本動脈硬化学会専門医が対応しますので、是非とも確認いただき知識を広めていただければ幸いです。

[https://www.j-athero.org/jp/specialist/medical\\_specialist/](https://www.j-athero.org/jp/specialist/medical_specialist/)

## 若手活性化プロジェクト

### ダイバーシティ推進委員会セミナー開催報告



(株) トラストチャーム  
福田 郁巳

2025年1月11日、日本産業衛生学会ダイバーシティ推進委員会主催によるオンラインセミナーが開催されました。本セミナーは、全国の地方会活動を紹介するシリーズ企画の一環で、今回は関東地方会に続く第二回目として、近畿地方会の取り組みをご紹介します。私は、近畿地方会会員、ダイバーシティ推進委員会委員という立場でセミナーに携わらせていただきました。

セミナー当日は、グランフロント大阪の現地会場とオンラインのハイブリッド形式で実施され、会場35名、オンライン61名、計96名の方々にご参加いただきました。最初に、保健師の喜多岡蓮美さん（住友電設株式会社）より、近畿地方会における若手活性化プロジェクトの取り組みをご紹介します。若手会員の「学会に参加してみたい」「発表してみたい」という思いに寄り添いながら、対話と試行錯誤を重ねてきたプロジェクトの経緯と成果が、時にユーモアも交えながら、あたたかくも力強く語られました。

続いての会員報告では、産業医の深井恭佑さん（株式会社リードウェル）、保健師の藤吉奈央子さん（株式会社トラストチャーム）のお二人より、ご自身のキャリアの歩みや学会との関わりについてお話をいただきました。学会活動を通じて得られる出会いや刺激、学びが自身の成長に直結しているという実感が共通しており、とくに藤吉さんの「偶然の積み重ねが今の自分をつくっている」という言葉は、深く心に響きました。ご参加の皆様それぞれの胸に届いたキーワードもあったのではないかと思います。その後のパネルディスカッションでは、喜多岡さん、藤吉さん、深井さんに加え、産業歯科保健部会会長の安田恵理子さんにもご登壇いただき、さまざまな立場から近畿地方会の持つ雰囲気や、参加しやすい空気づくりについて意見交換が行われました。今回は非学会員の参加も多く、「いかに学会を開かれた場とするか」「次世

代へつなぐ仕組みをどう作るか」など、前向きな議論が展開されました。今回、私自身もパネルディスカッションに登壇させていただきましたが、改めて学会における多様な関わり方の可能性を実感する機会となりました。最後に、近畿地方会長の林朝茂先生より、「みんなで楽しく」というキーワードのもと、現在の近畿地方会がアクティブに活動できていること、今後の学会運営においては若手の挑戦が不可欠であるとの温かいメッセージがありました。「信頼して相談できる人脈作りの場としての学会の活用」を、学会参加を悩まれている方にも大きなメリットの一つとしてお伝えできればと思います。

セミナー終了後は、現地参加者によるグラングリーン大阪でのウォーキング企画と懇親会が行われ、30名以上のご参加がありました。ウォーキングではうめきたエリアの自然豊かなルートをご紹介します。参加者の方からは「こんな場所があるなんて知らなかった」「家族と一緒に来てみたい」といった声もいただき、大阪の魅力再発見にもなったのではないかと感じました。

その後の懇親会では、初めて顔を合わせる方々同士でも自然と会話が弾み、笑顔と温かな交流にあふれた時間となりました。「また参加したい」「気軽に話せる雰囲気よかった」とのご感想もあり、こうした機会が次のつながりや参加のきっかけになることを実感いたしました。

今回の開催は、私にとっても学びと気づきに満ちた大きな一歩でした。企画立ち上げ当初は、委員になって間もないことや、初めてのセミナー運営ということもあり、不安も少なくありませんでした。しかし、共催としてご支援いただいた若活の皆さま、委員会の諸先輩方、そして当日参加いただいた皆さまのおかげで、安心してこの一日を迎えることができました。心より御礼申し上げます。また、皆さまとご一緒できる機会を心待ちにしております。





## 私たちの職場 (48)

## TIS(株)

TIS(株)大阪本社  
人事本部・人事部・産業保健チーム

看護師 市川 佳子

【会社概要】1971年に創業し、2008年に現在のTIS株式会社が設立されました。東京を本店として東京・名古屋・大阪に本社機能を持ち、社員数は5,834名、様々な業界・分野に高い専門性をもって最適なITサービスを提供しています。弊社の健康経営として、①心身の健康②生活力の向上③働きがいの向上を掲げており、『健康経営優良法人2025(大規模法人部門)ホワイト500』の認定を7期連続で受けています。弊社でもコロナ禍以降、在宅勤務、出社勤務、遠隔地テレワーク(所属する事業所(勤務地)に通勤できない遠隔地でほぼ100%在宅勤務をする)等、働き方が多様化しています。

【産業保健体制】弊社全体で東京・名古屋・大阪の3拠点に産業医10名、看護職7名が在籍しており、人事部厚生チームとも協働しています。

コロナ禍から多様化した働き方により産業保健チームも在宅勤務が可能となって日常的にオンラインで面談をするようになり、東名阪の産業保健チームが月1回のミーティング、人事厚生チームを含めた月2回のミーティングを行って、東名阪全体で社員の健康管理に関する対応や企画を提案し実施しています。

また私たちの専門知識や業務スキルを向上させるための学習の機会をチーム活動として設け、専門職であるチームメンバーがスキルアップすることを通じて、よりよい支援、サービスの提供につながるよう心がけています。月1回の全体ミーティング以外に、オンラインでの各種ミーティングを週1回程度実施し、東名阪の産業保健チームの価値観を共有することができ、コミュニケーションも円滑に図れていて、産業保健チームとして進化を続けています。

【活動について】会社の方針に則った産業保健チームのミッションを「社員が新しいもの・ワクワクできる未来を創りだせるように、健康面から支援する」と言語化し、①環境変化への適応を健康面から支援する②自律的な健康管理を後押しする環境を醸成する③安全・健康配慮義務を効果的に果たし、社員と会社双方の安全を守る、の3つの具体的目標を立て、8つのチームを作って各々のチームリーダーを中心に活動をしています。上期下期には東名阪の産業保健チームが話し合って今後の活動の見直しをしています。2024年度下期の全体のミーティングを3月25日に東京で実施し、改めて顔を合わせて話をする事の意義を実感しました。

日々の業務ではメンタルヘルス不調社員の支援が多く時間を占めていますが、「部門・部門上司」が困らないように支援することを含め、各々が自律的に健康管理できるように2023年度に「休業から復職の手引き」を作成して運用を開始しました。メンタルヘルス不調者の休業から復職後のサポート終了までの一連の流れに関係者



それぞれが自律的に行えるようにしています。

私自身は、「②自律的な健康管理を後押しする環境を醸成する」の中の「健康増進イベント・がん予防教育の実施」のチームでチームリーダーをしており、年度末に翌年の年間計画を立てて健康教育イベントを企画～実施しています。救急セミナー(8月)、乳がん予防(10月)や大腸がん予防(3月)の啓発活動のセミナー、血圧測定会と野菜摂取量の計測イベント(2月)を開催しました。【大阪地区の体制】大阪地区の社員数約860名に対して、看護職1名、産業医3名の体制で、産業医は、清原達也先生を筆頭に、2024年度から新たに2名の産業医が加わりました。メンタルヘルス不調で休業した社員の支援、健康診断の事後措置、衛生委員会の参加、健康相談等の業務を行いながら、チームのミッションに向けて日々励んでいます。

【最後に】コロナ禍以降に東名阪でオンラインを活用して各拠点で独立した形態から更に統一され、連携が取れる健康支援活動になりました。大阪地区の常勤職は私1人ですが、1人という感覚が薄れて東名阪のメンバーといっしょにいつも業務をしている、という感覚です。学会でも新しい知識を仕入れ、新しいスキルを身に付けて社員に還元できるように、今後も東名阪で協力しながら産業保健スタッフ一同、従業員の健康管理に尽力していきたいと思えます。



## 産業精神衛生研究会からのお知らせ

皆様こんにちは。研究会代表幹事を仰せつかっている木村隆です。昨年の本研究会で研究会参加者に対して“聞きたい内容について”アンケートを取ったところ、パワハラが最大得票数となりました。従って今年度のテーマはパワハラをとりあげます。

さて、パワハラについて産業保健現場は何に困っているか考えてみると、部下が訴えるパワハラが本当なら上司にしっかり指導するべきですし、具体的には誰がどのように指導するかの課題があります。一方で一部の部下が上司の指導をパワハラと感じている事例もあります。この場合はこの部下に対して誰がどのように対応するのでしょうか。産業保健職は実際にハラスメントの現場に居合わせたわけでもないので、部下の訴えを鵜呑みにすることは出来ません。しかし全く対応しないわけには行きません。何らかの対応をしないと役に立たない産業保健職になってしまいます。

こういった事例をメンタルヘルス不調として診療されている精神科医はどのように対応されているのでしょうか。パワハラなのか、パワハラとはならないものの労働者が追い詰められている状態なのか、それとも労働者の個性で過度に圧力を感じてしまうのか、さらには上司が指導を厳しくせざるを得ない状況があるのか、労働者のパフォーマンスが低いのか。どのようにして見極めるのでしょうか。また、診察を繰り返すうち、明らかにパワハラが存在するのか、それとも部下（患者さん）の思い込みなのか見極めたのち、どのような対応をされているのか。まだ、講師を選定するには至っておりませんが、経験豊富な精神科医を迎えて、解決の道筋を教えてください、産業保健職の役割を示して頂く企画を考えています。

なお、日時場所は、令和7年11月5日（水）エル・おおさか 18時30分～20時30分と決まっております。

乞うご期待！



会でも産業保健看護職の学びに繋がる企画を検討しています。地方会学会は数少ない学会発表の場でもありますので積極的にご参加ください。それぞれの詳細が決まりましたら地方会ホームページやメルマガにてお知らせします。そして次年度はいよいよ大阪での日本産業衛生学会の本学会が開催されます。部会企画フォーラム・実地研修・自由集會等検討しています。学会発表はじめ、ボランティア参加など、専門家制度の単位やポイントを取得する機会でもあります。今後の地方会ホームページでの情報をチェックしてください。

### ○産業保健看護部会本部・専門家制度委員会情報

・本年度専門家認定試験は初めて大阪で開催されます。（2025/11/16 予定）

詳細は7月頃下記HPにてご確認ください。

専門家制度委員会 HP：

<https://www.sanei.or.jp/hokenkango/information/index.html>

・基礎研修開催（2025/9月～12月）詳細は7月頃、以下の産業保健看護部会HPにてご確認ください。

### ○産業保健看護部会未入会の皆様

産業保健看護部会では部会員を募集しています。（活動費年2,000円）

部会企画の各種研修会の参加費優遇などのメリットがあります。入会方法については、日本産業衛生学会産業保健看護部会入会方法をご覧ください。

産業保健看護部会 HP：

[https://sangyo-kango.org/wp/?page\\_id=33](https://sangyo-kango.org/wp/?page_id=33)

部会長 鈴木 純子

## 産業歯科保健部会からのお知らせ

いつもお世話になっております。産業歯科保健部会の最近のトピックスを御紹介致します。

1) 数年前より産業歯科保健部会が協力している厚労科研（東京歯科大学上條英之研究班 労働安全衛生総合研究事業 職域での歯科口腔保健を推進するための調査研究）において作成された「職場での歯と口の健康づくりを進めている事業場の事例集および歯と口の健康づくり事業を進めるための評価指標」が、労働科学研究成果データベース掲載のみならず、厚生労働省の歯科保健医療情報サイト <https://dental-care-info.mhlw.go.jp/> から産業歯科保健部会HPにリンクされて閲覧できるようになっています。

2) 近畿地方会産業歯科保健部会員の大橋正和先生が発表された「特定健診受診者に対する生活習慣病対策としての歯科受診勧奨事業の構築」が、第35回近畿・中国・四国口腔衛生学会で最優秀演題賞を受賞し、日本歯科医師会雑誌2025年1月号にもその発表内容が掲載されました。

また第98回日本産業衛生学会産業歯科保健部会フォーラムにおいて、大橋先生が詳しく講演しますので、歯科以外の皆様も是非御参加下さい。共通認識を持てる良い機会になることと思います。

3) 第34回全国協議会のシンポジウム2で「職域において閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）にどう対応すれば良いか？」をテーマに多職種でディスカッションし理解を深められました。それを契機に産業医学ジャーナルより原稿依頼があり、「労働者の睡眠をめぐる歯科の関わり」と題して、日本大学歯学部の外木守雄先生と安田恵理子の共著で産業医学ジャーナル48巻2号に掲載されています。

[https://doi.org/10.34354/ohpfjrn148.2\\_191](https://doi.org/10.34354/ohpfjrn148.2_191)

以上、歯科保健が働く人々の健康に寄与できますよう尽力して参りますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

日本産業衛生学会産業歯科保健部会会長

近畿産業歯科保健部会副会長 安田 恵理子

## 産業保健看護部会からのお知らせ

### ○近畿産業保健看護部会会員の皆様

いつも部会活動にご協力いただきありがとうございます。2025年度がスタートしました。

今期の部会体制をお知らせします。

担当	氏名
部会長	鈴木純子
副部会長	村田理絵・藤吉奈央子
会計	○南未来・森雅子
総務	堤梨恵
広報	林田千雅子
教育	○中村千賀・榊原彩・平田真以子・廣野陽子・野村杏子・吉田麻美
幹事会あり方検討	○堀内寿美子・中田ゆかり・益江淑子
監事	鮫島真理子・塩崎万起

○：リーダー

今年度も部会定例研修会の開催をはじめ、近畿地方会学

## 第 65 回近畿産業衛生学会のお知らせ（第一報）

第 65 回近畿産業衛生学会長  
(長谷工クリニック)



西田 和彦

昨年の近畿産業衛生学会は、選挙がある年だったために8月末に予定したところ台風に見舞われ12月に延期となりましたが、今年はその心配がない11月に開催いたします。気候の良い時期ですので是非ともご参加いただきたいと思います。

さて少子高齢化、生産年齢人口の低下が続いている日本では、「人生100年時代」や「生涯現役社会」という言葉をよく耳にするようになりました。「生涯現役社会」実現のために高齢者が退職後も元気に生きがいをもって地域社会に参加する方策などがよく検討されますが、現役世代の働く人に対して我々産業保健職は、常日頃から病気に苦しむことなく健康で職務を全うできるように健康管理、健康教育や保健指導などを行い、「生涯現役社会」の礎を築く非常に重要な役割を担っていると考えます。しかしながら、中高年労働者は段々と生活習慣病、心疾患・脳疾患や悪性疾患などの有病率が高くなり、やがて身体機能低下に関わる問題も発生します。また、女性特有あるいは男性特有の健康課題もあります。

そこで今回、「生涯現役社会に向けた産業保健の取り組み」というテーマで教育講演、基調講演、シンポジウムを企画しました。生活習慣病、労働災害、乳がんに対する専門の先生方をお招きしますので最新の知見を学ぶ機会にさせていただきたいと思います。シンポジウムでは女性特有の健康課題についても検討したいと思います。一般演題は、このテーマに沿ったものはもちろん、そうでなくても是非とも日頃の研究成果などを発表していただければと思います。多くの応募をお待ちしています。懇親会も開催する予定です。現地参加だけでなくライブ配信も予定していますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 開催概要

1. 日時：2025年11月8日（土曜）
2. 会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
  - ・京阪「天満橋」駅、地下鉄谷町線「天満橋」駅1番出入口から東へ約350m。
  - ・JR東西線「大阪城北詰」駅、2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m
3. テーマ：「生涯現役社会に向けた産業保健の取り組み」
4. 内容（予定）
  - 1) 一般演題（口演）
    - 申込締め切り：2025年9月1日（月曜）予定
    - 優秀演題賞、若手奨励賞を表彰
  - 2) 教育講演
    - 「人生100年時代の就労と健康」
    - 演者：山本 浩一（大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学教授）
  - 3) 基調講演
    - 「生涯現役を支える身体バランス：労働災害の疫学が示す未来」
    - 演者：財津 将嘉（産業医科大学 高年齢労働者産業保健研究センター長・教授）
  - 4) シンポジウム
    - 「生涯現役社会に向けた女性への産業保健の取り組みを考える」
    - 基調講演：「生涯現役社会のための仕事と治療の両立支援～乳がん患者への取り組み～」
    - 演者：赤羽 和久（赤羽乳腺クリニック院長）
    - シンポジスト：高木 智子（(株)コーサー ライフ & サポートセンター）
    - 安田 恵理子（大阪歯科大学 口腔衛生学）
  - 5) 懇親会
    - 未定
5. ホームページ（予定）：<https://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-65/>
6. 学会事務局
  - 長谷工クリニック
  - 〒541-0046 大阪市中央区平野町1-5-7
  - 問い合わせメールアドレス（予定）：[kinki65@jsoh-kinki.jp](mailto:kinki65@jsoh-kinki.jp)

## 編集後記

このニュースがお手元に届く頃にはEXPO2025大阪・関西万博が開幕されていますね。前売り券の販売は不調なようですが、関西在住者としてとりあえずふるさとの納税で前売り券は入手しています。予約はまだですが、暑さと混雑を避けて、6月までには行ってみたいものです。さてコロナ禍での感染対策が様々な感染症の流行をも抑制したためか、最近ではパンドラの箱を開けたようにマイコプラズマや手足口病、リンゴ病そして感染性胃腸炎などが季節性を外れて大流行するようになりました。万博開催で海外から

大阪への訪問者が増えると、麻疹やヒトメタニューモウイルス、あるいはデング熱、もしかしたらエムボックスなども入って来てややこしい状況になるのではないかとちょっと心配しています。今後、新しいパンデミックが産業保健の話題とならないように願うのみです。（清原 達也）

### 編集委員（50音順）

相羽 洋子 石原 宗和 井上 幸紀（担当理事） 岡本 昭夫  
清原 達也（当番編集長） 谷池 正行 村田 理絵